

千代中の学びの座之器

《学校だより》 第2号

令和7年5月21日発行

小田原市立千代中学校

校長 中村 栄江

千代中の「学び」のシステム

明るい挨拶の音が響く千代中学校。生徒は千代中 HERO をめざし、充実した学校生活を送っています。毎日授業の様子を見ていますが、子どもたちは毎時間提示される学習目標を意識し、前向きに取り組んでおり、ICTの活用やグループワークなどを取り入れた授業が展開されています。しかしながら授業の内容は学年が上がるごとに難しくなっていきますので、学校の授業だけでは十分とは言えません。家庭での学習は必須です。子どもたちにはぜひ、自ら学習する習慣を身に付けてほしい…そこで今年度も、本校の「学ぶ力」の育成方針についてまとめてみました。

Q 「千代中学びプラン」って何？

A すべての教科の年間授業計画を示したもの。

年度初めに作成しています。いつ、どんな学習をするのか、授業で何がわかり、何ができるようになるのかが書かれています。1年間の授業の進め方がわかり、学習の見通しがもてます。

Q 「千代中学びプラン」は分厚くて持ち歩かないし、使いにくいのですが…(R5 生徒意見より)

生徒が使っている学習用端末(クロームブック)にデータ保存しました。「今、どの辺りの勉強をしているのかな?」と思ったらいつでも見られる状況にしています。授業でも時折確認の場を設けるとともに、ホームページにもアップして家庭でも見られるようにしていきます。

Q 授業では、授業のまとめりに「単元計画表」も配られるのはなぜ?

A 「単元計画表」は、学びプランの詳細版です。単元ごとに、何を勉強し、いつどんなテストをするのか、またどのような力がついたのかがわかります。



Q 千代中はなぜ定期テストが2回しかないの?

A 千代中のテスト実施、成績を出す時期は次のようになっています。

【1・2年生】

定期テスト	成績(評価・評定)
9月(5科)	10月(9科)
2月(5科)	
☆2月実力テスト	3月(9科)

【3年生】

定期テスト	成績(評価・評定)
	7月(5科)
6月(5科)	10月(9科)
11月(5科)	12月(9科)→進路決定に使用
☆1月実力テスト	3月(9科)

5 科…国語、社会、数学、理科、英語

9 科…国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健・体育、技術・家庭

☆ **実力テスト**…高校入試を見据え、全県受験者を対象とした業者テストで学力を把握します。

2014 年 4 月から、評価そのものの考え方が変化しています。



評価は、国の指針(学習指導要領)で単元のまとまりごとに行うよう示されました。



そこで国の方針に則り…

日頃の授業の中で学習のまとまりごとに「単元テスト」を実施し、

定期テストを年 2 回に減らしました。

確かに…

そうだったかも

従来の定期テストでは

時期が決まっているため試験範囲が○ページ○行目まで等、中途半端。

試験範囲が広く、一夜漬けやヤマを張るなど、一時しのぎの学習になりがち。

ヤマがあたり試験は何とかできたけどすぐに忘れてしまい、普段から勉強する習慣が身につかないなど課題が多い。

学習が苦手な子どもは、大量の試験範囲に困惑し意欲をなくしがちになる。

Q 定期テスト 4 回の他校と比べて学習が遅れないか心配です。

A 単元テストには、短いスパンで学習の定着を確認できるメリットがあります。どこが理解でき、どこが理解できていないのか、つまずきに気づきやすく、学習の遅れを取り戻すことも容易です。

短い周期でテストが行われるため、学習が苦手な生徒も勉強しやすく、学習の習慣が身に付きます。

各教科の単元テストが別日に行われるため、その教科に限定してテスト勉強ができます。

教員にとっては、単元テストの結果が日ごろの指導を見直す機会となります。定着率が低いと感じれば、理解できていない部分を再び授業で指導することもできます。

学校評価アンケートでは、90%以上の生徒が、肯定的な回答をしています。

Q 単元テストはいいことばかり？

A 授業をしてすぐにテストとなるので、テスト結果は習ったことが記憶に残っている時期の理解度となります。人間誰でも時がたつと忘れてしまいます。

その後も自発的に、家庭での復習が必要です。

年 2 回の定期テストが、復習を促す良い機会になるとは思いますが、自ら学習する習慣が身につくよう、ご家庭での支援、声掛けをお願いします。

家庭での復習が、
不可欠なんだね！



Q 他の学校は、単元テストをしないのですか？

A 全国的にみると、定期テスト廃止に向かって取り組んでいる学校が増えています。

国の方針に沿い、単元テストへ移行する学校は今後も増えていくと思われます。

ただし教員の負担が増えるリスクもあり、システムを変えるには準備が必要なのだと考えます。

素直で明るい千代中の子どもたちが自分らしさを発揮し、たくましく生き抜く力をつけるために、今後ご理解とご協力をお願いします。